

<平成20年度 「土木の日の集い」が開催されました>

「土木の日」は現在の土木学会の前身にあたる工学会の創立日である明治12年11月18日、また、「土木」の文字を分解すると「土=十一」、「木=十八」となることにちなみ定められたもので、この日にあわせて土木のイメージアップと理解を深めていただくことを目的として、全国各地で様々なイベントが実施されております。

本県においても栃木県魅力ある建設事業推進協議会（CCIとちぎ）土木学会関東支部栃木会の共催で「土木の日の集い」を行っており、平成20年度は以下のようなテーマ・内容にて開催いたしました。

概 要

日 時

平成20年11月17日（月） 午後1時00分から午後4時00分まで

会 場

宇都宮ポートホテル（11階：グランドホール）（宇都宮市東宿郷2-4-1 TEL: 028-632-7777）

参加者

一般県民、建設関連学科に学ぶ学生、建設業関係者、学会関係者、行政関係者 等

テーマ

「魅力ある建設産業を目指して～環境にやさしい建設事業～」

内 容

基調講演 「サステナブル・シティ 宇都宮をめざして」

・講師 古池 弘隆 氏〔宇都宮共和大学シティライフ学部教授〕

基調講演 「マー兄ちゃんのやさしい環境講座」

・講師 北野 大 氏〔明治大学理工学部教授・環境省中央環境審議会委員〕

選奨土木遺産認定書授賞式

・膳棚水路橋（黒川発電所）（那須町）

<開会の挨拶>



基調講演 「サステナブル・シティ 宇都宮をめざして」

・講師 古池 弘隆 氏〔宇都宮共和大学シティライフ学部教授〕



基調講演 「マー兄ちゃんのやさしい環境講座」

・講師 北野 大 氏〔明治大学理工学部教授・環境省中央環境審議会委員〕



選奨土木遺産認定書授賞式

・膳棚水路橋（黒川発電所）(那須町)

<東京電力(株)への認定書授与>



<膳棚水路橋>

会場内の様子



ごあいさつ

栃木県魅力ある建設事業推進協議会長
栃木県県土整備部長 山内 正彦



本日は「土木の日」を記念して、本県の土木建築に係わる栃木県魅力ある建設事業推進協議会・土木学会関東支部栃木会の共催により、「魅力ある建設産業を目指して～環境にやさしい建設事業～」をテーマに、「土木の日の集い」を開催いたします。

今回は、宇都宮共和大学古池教授並びに明治大学北野教授の基調講演をとおして、建設事業等が環境問題へどのように取り組めば良いのかをご教示いただきながら、会場の皆さま方と一緒に、ともすれば相反する関係で捉えられがちな建設事業と環境について考えて参りたいと思っております。

建設産業については、公共事業予算の減少や経済のグローバル化による資材等の高騰など、依然として厳しい状況が続いておりますが、社会資本整備を支える土木建築事業の重要性や魅力、そこに従事する私たちの誇り・熱意などを繰り返し伝えることにより、「土木建築の真の姿」を正しく理解していただけるよう今後とも積極的に活動を展開して参りますので、よろしく願いいたします。

〈 会場 〉

宇都宮ポートホテル

〈 日程 〉

平成20年11月17日(月)

午後1時00分	開会・主催者挨拶
1時05分	基調講演
2時05分	休憩
2時10分	基調講演
3時30分	選奨土木遺産認定授賞式
4時00分	閉会

〈 主催 〉

栃木県魅力ある建設事業推進協議会
土木学会関東支部栃木会

古池 弘隆（こいけ ひろたか）氏

〔宇都宮共和大学シティライフ学部教授〕

サステナブル・シティ宇都宮をめざして



宇都宮のサステナブル度は？

人口減少時代における都市と交通の問題

ネットワーク型コンパクトシティ構想

人と環境にやさしいまちづくりを地域の誇りに

（出身）

福岡県（1940年生まれ）

（主な経歴）

東京大学工学部卒、ワシントン大学大学院で博士課程修了（1970年）カナダBC州立研究所計算センター長（1981年）、宇都宮大学工学部教授を経て、2006年から現職。2007年から、うつのみや市政研究センター所長を兼任。

（主な公職）

土木学会関東支部栃木会会長、国土審議会専門委員、栃木県都市計画審議会会長、宇都宮市交通安全審議会会長、新交通システム導入基本計画策定調査委員会委員長、国際土木・建築コンピュータ学会理事 外

（主な著書）

『社会計画のための戦略的選択アプローチ』
『交通安全とまちづくり』
『都市再生－交通学からの解答』 外

（主な専門分野）

都市及び地域計画、交通計画、交通工学、地域情報化、等

基 調 講 演

北野 大 (きたの まさる) 氏

〔明治大学理工学部教授・環境省中央環境審議会委員〕



マー兄ちゃんのやさしい環境講座

本来、環境問題とは？

日本の温暖化問題は CO2 の問題といってもいい

環境とエネルギーの問題

持続可能な社会へむけて、循環型社会を作っていこう

(経歴)

- 1942 年 東京都足立区生まれ
- 1965 年 3 月 明治大学工学部卒業
- 1972 年 3 月 東京都立大学大学院 工学研究科 工業化学専攻 博士課程修了
分析化学で博士号を取得 (学位論文: 光分解-ガスクロマトグラフィーの研究)
専門は、環境科学
- 2006 年 4 月 財) 化学物質評価研究機構・企画管理部長、淑徳大学教授を経て
明治大学理工学部教授に就任

(メディア出演実績)

1987 年にスタートした「関口宏のサンデーモーニング」(TBS)に 10 年間出演。
以後、「巨泉のクイズダービー」(TBS)「マジカル頭脳パワー」(NTV)「くらしの
経済」(NHK)「やじうまワイド」「タイムショック 21」(テレビ朝日)等に出演
現在はテレビ朝日「ワイドスクランブル」にレギュラー出演。

(主な著書)

- 『ドクター北野の地球なんでも好奇心』(NHK 出版)
- 『北野家の訓え』(PHP 研究所)
- 『教育のプロが語る「できる子ども」は環境で決まる』(ダイヤモンド社)
- 『なぜかたけしの兄です』(主婦と生活社) 外

平成20年度選奨土木遺産に『膳棚水路橋』が認定されました！

1. 選奨土木遺産の趣旨及び内容

土木学会では、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、土木学会選奨土木遺産の認定制度を平成12年度に設立しました。

選考方法は、土木学会選奨土木遺産選考委員会により、「日本の近代土木遺産 - 現存する重要な土木建造物 2800 選」(土木史研究委員会編、土木学会発行)のリストを中心に技術的・デザインの優れたものやエピソードが豊富な建造物などを「選奨土木遺産」として認定表彰しています。今年度は全国で23か所が認定され、本県からは東京電力(株)黒川発電所の導水路橋として建設された「膳棚水路橋」が認定されました。

2. 「膳棚水路橋」の概要

場 所	栃木県那須郡那須町稲沢	完成年	大正10(1921)年
管理者	東京電力株式会社	橋 長	100.6m(16径間×6.06m)
形 成	RCラーメン(RC橋脚)		



膳棚水路橋の全景

3. 認定理由

大正期のRCラーメン構造は希少であり、大正期に建設された同形式の発電用水路橋としては唯一のものである。

3本橋脚に「字型」に筋交い(すじかい)の入ったRC橋脚は極めて特殊な構造であり、技術および意匠性にも優れている。

X字型筋交いが入った3本のRC橋脚と水路側壁を支える三角バットレス群が長さ100.6mにわたって連続する景観は、造形美に富み圧巻である。

4. 参 考(これまでの本県の認定遺産)

晩翠橋(那須塩原市・那須町/那珂川)	平成14年度認定
宇都宮市水道施設群(今市浄水場、第6号接合井、戸祭配水場)	平成17年度認定
境 橋(那須烏山市/那珂川)	平成19年度認定

ぜん だな す いろ きょう

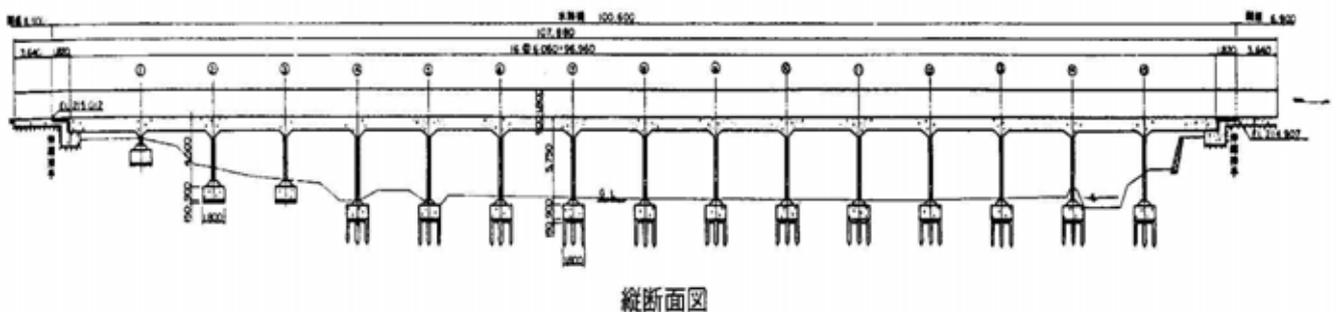
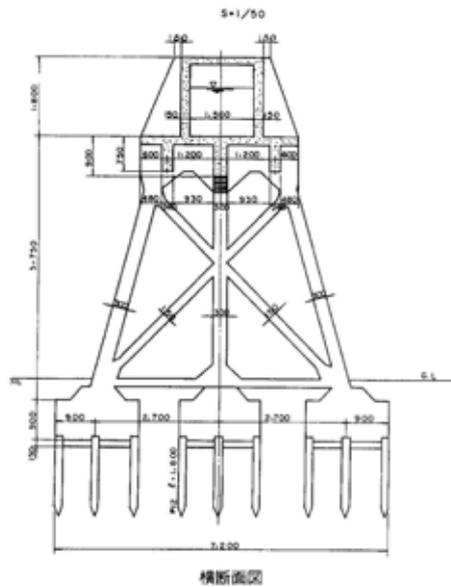
膳棚水路橋

膳棚水路橋は、塩那電気株式会社（現 東京電力株）が大正 10（1921）年、那須町稲沢地内に、黒川発電所の導水路橋として建設したものである。

下部構造は、3本のコンクリート橋脚にX形の筋交（すじがい）の入った特殊な鉄筋コンクリートラーメン構造となっており、基礎から桁下までの高さが 5.0mとなっている。また、橋の長さは 100.6m（16 径間×6.06m）で、その上に、水路と一体となった高さ 2.55mの T 桁を載せている。T 桁の最大幅員は 3.6m で水路の断面幅 1.5m 高さ 1.8 m となっており、水路側壁を三角バットレス群で支える特殊構造となっている。

黒川発電所は、黒川取水堰とそれを經由する余笹川取水堰の 2 か所から取水し、延長約 5.1 km の導水路を経て、最大出力 1,074 k w の発電を行っている。

（参考文献：栃木支店水力発電史 東京電力株式会社栃木支店 平成 11 年 2 月改定）

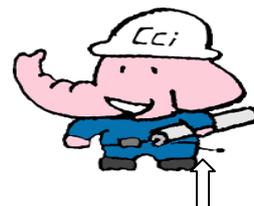


CCI協議会と土木の日

- CCI協議会は、「栃木県魅力ある建設事業推進協議会」の略称であり、CCIは、Charming Construction's Identityの頭文字を冠したものであります。

目的は、建設業のイメージアップと職場環境の改善を図り、建設業が担う社会基盤整備の円滑な推進を図ることにあります。事業としては、建設業のイメージアップや各種の情報提供、クリーンアップ等の社会貢献事業、その他を行っております。

- 「土木の日」は現在の土木学会の前身にあたる工学会の創立日である明治12年11月18日、また、「土木」の文字を分解すると「土=十一」、「木=十八」となることにちなみ定められたもので、この日又はその前後の日に土木のイメージアップと理解を深めていただくことを目的として、全国各地で様々なイベントが実施されております。本県においても当協議会と土木学会関東支部栃木会の共催で「土木の日の集い」を行っております。



CCIキャラクター「けんたくん」

栃木県魅力ある建設事業推進協議会